避難訓練実施例　その１土砂災害

想定：台風に伴う大雨によって、施設に隣接する急傾斜地が崩落することを想定する。

＜施設名：Aグループホーム＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時　間 | 気象情報・事象  避難情報発令状況 | 訓練内容 | 参加者 | 場　所 |
| 13：30～ |  | 事前説明 | 職員●名 | 施設ロビー |
| 13：40～  13：55～ | 台風発生・接近  大雨警報発表 | 情報収集伝達訓練  ・テレビ、インターネットからの情報収集  ・通所利用の中止判断  ・利用者の送迎依頼  ・避難先の検討 | 職員●名 | 1階事務室 |
| 14：10～  14：30～ | 警戒レベル３（高齢者等避難）発令  土砂災害警戒情報発表 | 立ち退き避難訓練（施設利用者）  ・館内放送  ・周辺住民への協力依頼  ・前兆現象の確認  ・AグループホームからBセンターへ避難開始  ・物品の運搬  ・避難スペースの設営  ・避難先での体調管理  ・連絡体制の確立 | 利用者●名  職員●名 | 避難先施設  (Bセンター) |
| 15：00～ | 警戒レベル４（避難指示）発令 | 立ち退き避難訓練（職員等）  ・館内放送  ・AグループホームからBセンターへ避難開始 |
| 15：15～ |  | ふりかえり |  | 施設ロビー |
| 15：30 |  | 訓練終了 |  |  |

※１　避難先並びに避難経路は複数個所を検討しておくことが望ましい。

※２　災害時の持ち出し物品は「避難確保計画」に定め、事前に準備しておくことが望ましい。

※３　避難先でのスペースの確保や避難者の負担軽減対策を検討しておくことが望ましい。

※４　「避難確保計画」に「施設内緊急連絡網」を定めておくことが望ましい。

※５　土砂災害ハザードマップを確認し、「緊急安全確保」が発令された場合に垂直避難が可能か事前に検討しておくことが望ましい。

避難訓練実施例　その２　洪水

想定：台風に伴う大雨によって、近隣河川の●●川が氾濫することを想定する。

＜施設名：A老人ホーム＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時　間 | 気象情報・水位  避難情報発令状況 | 訓練内容 | 参加者 | 場　所 |
| 13：30～ |  | 事前説明 | 職員●名 | 施設ロビー |
| 13：40～  13：55～ | 台風発生・接近  大雨・洪水警報発表、氾濫注意水位超過 | 情報収集伝達訓練  ・テレビ、インターネットからの情報収集  ・通所利用の中止判断  ・利用者の送迎依頼  ・避難先の検討 | 職員●名 | 1階事務室 |
| 14：10～ | 警戒レベル３（高齢者等避難）発令、避難判断水位超過 | 垂直避難訓練（施設利用者）  ・館内放送  ・周辺住民への協力依頼  ・A老人ホームからBセンターへ避難開始  ・移動困難者は1～2階から3階へ避難開始  ・避難先及び3階へ物品の運搬  ・避難スペースの設営  ・避難先での体調管理  ・連絡体制の確立 | 利用者●名  職員●名 | 避難先施設  (Bセンター) |
| 15：00～ | 警戒レベル４（避難指示）発令、氾濫危険水位超過 | 垂直避難訓練（職員等）  ・館内放送  ・3階へ避難開始 |
| 15：15～ |  | ふりかえり |  | 施設ロビー |
| 15：30 |  | 訓練終了 |  |  |

※１　避難先並びに避難経路は複数個所を検討しておくことが望ましい。

※２　洪水ハザードマップから浸水深を確認し垂直避難が可能か事前に検討しておくこと。

※３　災害時の持ち出し物品は「避難確保計画」に定め、事前に準備しておくことが望ましい。

※４　避難先でのスペースの確保や避難者の負担軽減対策を検討しておくことが望ましい。

※５　「避難確保計画」に「施設内緊急連絡網」を定めておくことが望ましい。

避難訓練実施例　その３　地図の作成

想定：台風に伴う大雨によって、近隣河川の●●川が氾濫することを想定する。

＜施設名：A老人ホーム＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時　間 | 訓練項目 | 訓練内容 | 参加者 | 場　所 |
| 13：30～ | 訓練開始 | 事前説明 | 職員●名 | １階事務室 |
| 13：40～ | 情報収集伝達訓練 | ・テレビ、インターネットからの情報収集  ・通所利用の中止判断  ・利用者の送迎依頼  ・避難先の検討 | 職員●名 | １階事務室 |
| 14：10～ | 避難経路確認訓練 | ・ハザードマップの確認  ・A老人ホームからBセンターへ実際に移動し避難経路を確認  ・危険個所の写真撮影  ・避難先の写真撮影  ・避難スペースの設営 | 職員●名 | 避難先施設  (Bセンター) |
| 15：00～ | ふりかえり | ・危険個所を入れた施設周辺地図の作成 | 職員●名 | １階事務室 |
| 15：30 | 訓練終了 |  |  |  |

※１　避難先並びに避難経路は複数個所を検討しておくことが望ましい。

※２　洪水ハザードマップから浸水深を確認し垂直避難が可能か事前に検討しておくこと。

※３　災害時の持ち出し物品は「避難確保計画」に定め、事前に準備しておくことが望ましい。

※４　避難先でのスペースの確保や避難者の負担軽減対策を検討しておくことが望ましい。

※５　「避難確保計画」に「施設内緊急連絡網」を定めておくことが望ましい。

※６　「避難確保計画」に危険個所を入れた施設周辺地図を入れ、その都度更新する。

※７　土砂災害の場合も同様に作成する。